



2023年3月期第2四半期 決算説明会

2022年11月22日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

目次

I .2023年3月期第2四半期 実績

II .2023年3月期通期業績予想、配当予想

III.中期経営計画(WILL-being 2023) 重点戦略の進捗

I .2023年3月期第2四半期 実績

1

国内WORK事業は、感染症再拡大で伸び悩む中、海外WORK事業が、為替影響含め堅調に推移したことで増収増益。

2

Perm SHIFT推進により、国内WORK、海外WORKとも売上総利益率は、前期と比較して上昇。

3

財務体質は着実に改善。

2023年3月期第2四半期 業績ハイライト

売上収益は、感染症再拡大による影響を受け国内は伸び悩む一方、海外は、人材紹介、人材派遣とも堅調に推移したことに加え、プラスの為替影響。

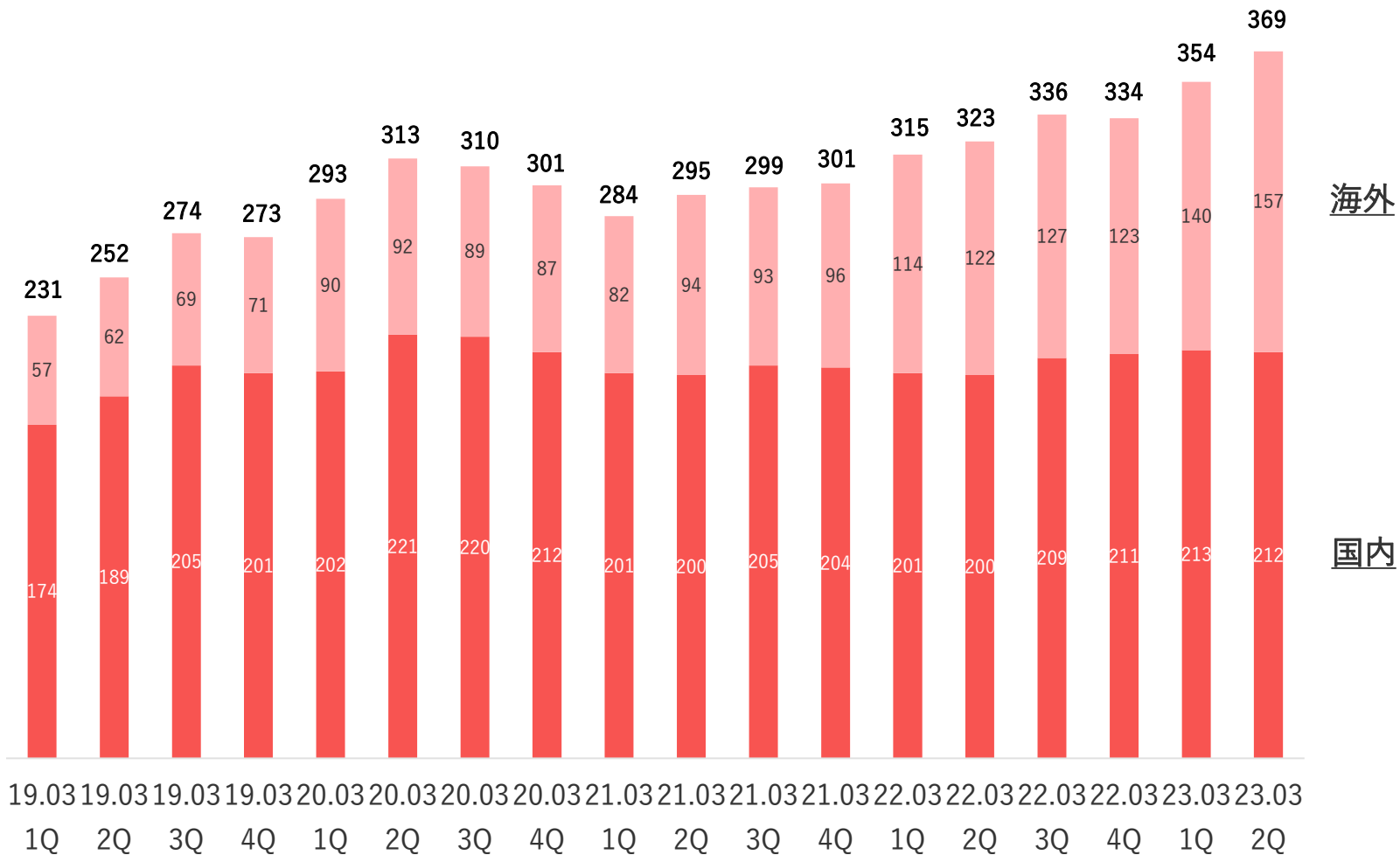
営業利益は、戦略投資領域において4.7億円の先行投資を実施したものの、海外の売上収益が増加し、売上総利益が伸長したことで増益。

	実績	前年同期比	業績予想比*
売上収益	723.5億円	+13.2% (+84.4億円) うち為替影響+34.0億円	+8.0% (+53.5億円) うち為替影響+50.0億円
売上総利益率	22.4%	+0.4pt	+0.1pt
営業利益	29.3億円	+9.3% (+2.4億円) うち為替影響+2.3億円	+30.4% (+6.8億円) うち為替影響+3.0億円

*業績予想は、2022年5月11日公表値です。

連結売上収益の四半期推移

(億円)



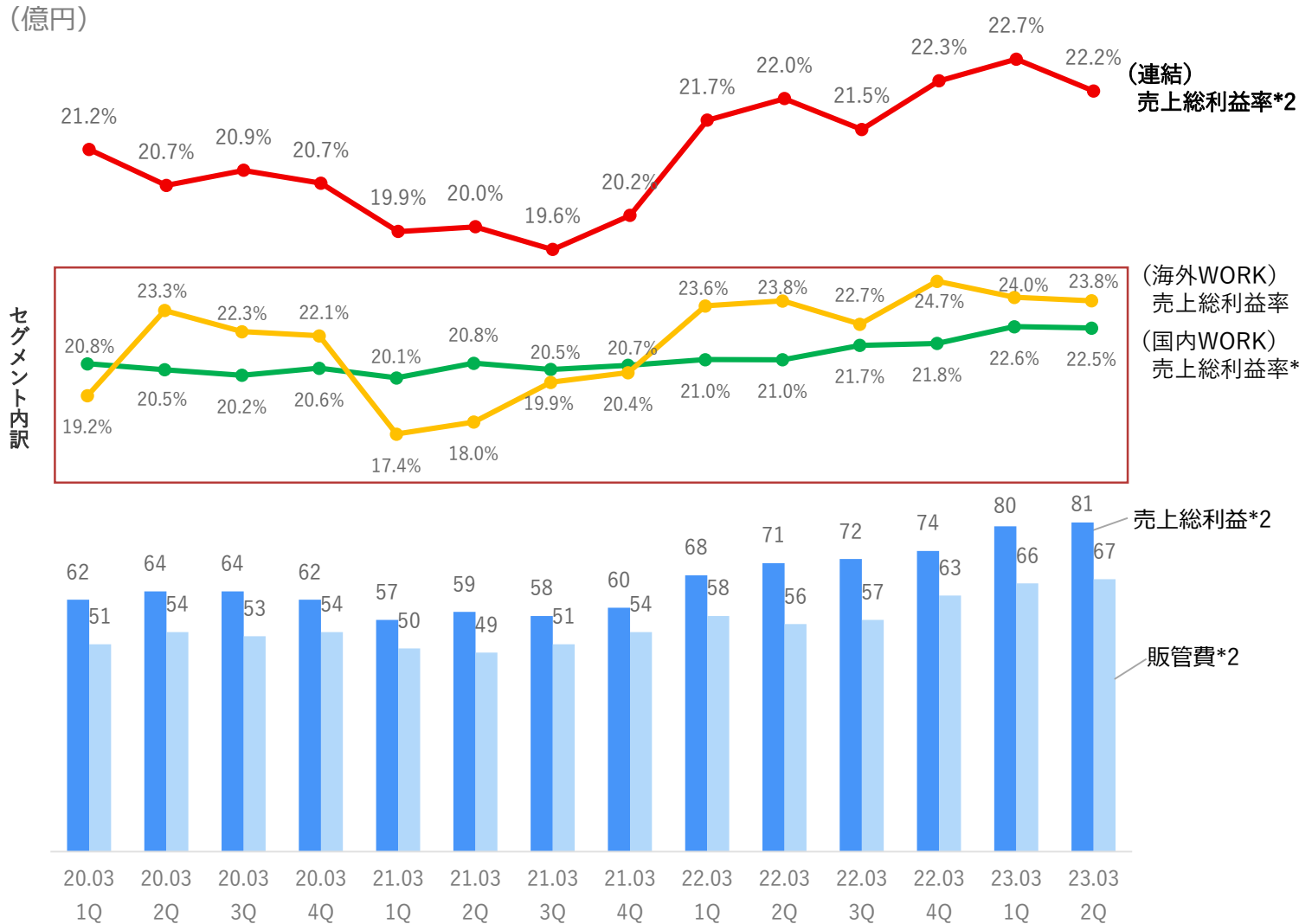
2Qは、
23.3期1Q比：+15億円

(うち為替影響：+2億円)

海外は、引き続き順調。
国内は、感染症再拡大
による影響で伸び悩む。

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

売上総利益率の四半期推移



連結売上総利益率は、四半期比で若干低下するも、売上総利益額は着実に増加。

戦略投資領域（建設、スタートアップ、介護）の先行投資は、
 2Q累計計画：6.7億円
 2Q累計実績：4.7億円 (△2.0億円)
 未消化分の一部は、3Q以降に繰越し。

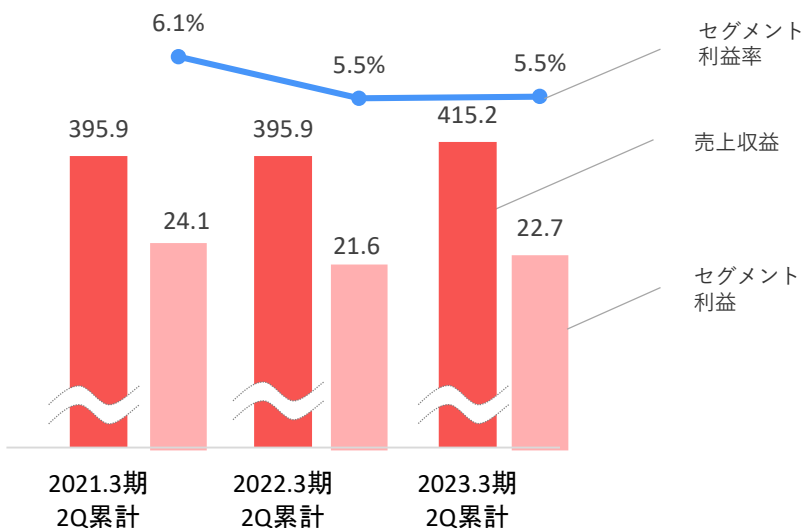
*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。
 *2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

セグメント業績概要

(億円)

国内WORK事業

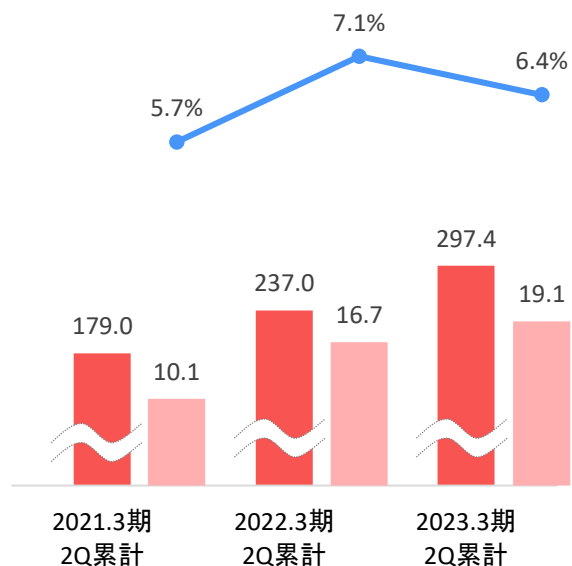
感染症再拡大で伸び悩む



- 7月から9月にかけての感染症再拡大により、新規案件の獲得が遅れたことに加え、派遣スタッフの欠勤増加。
- 2Qの稼働スタッフ数は、感染症再拡大の影響を受け、建設技術者領域を除き減少。
- 建設技術者領域（3億円）、スタートアップ人材支援領域（1億円）の先行投資を実施。

海外WORK事業

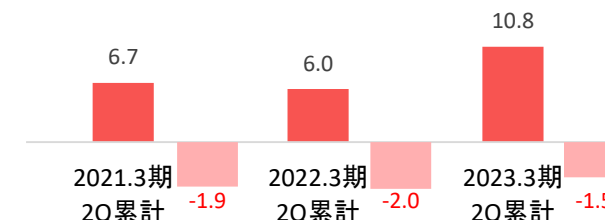
堅調に推移



- 豪州、シンガポールとも求人件数は、過去最高水準で推移しており、人材派遣、人材紹介とも増加。
- オーストラリアドル、シンガポールドルとも円安に推移。為替影響は、計画比で売上収益+50億円、営業利益+3.0億円
前期比で売上収益+34億円、営業利益+2.3億円

その他

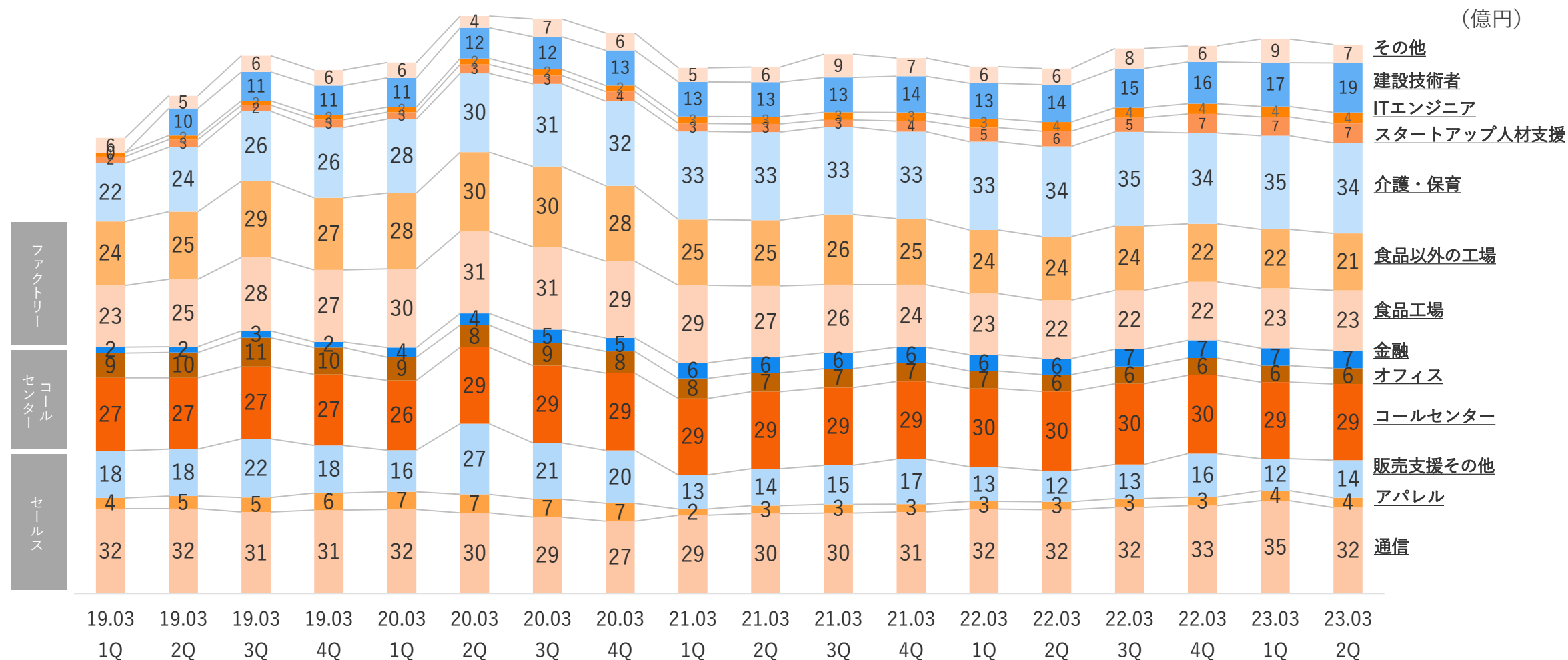
先行投資を継続



- 探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。入国制限緩和により、外国人の入国再開が徐々に本格化。

国内WORK事業（分野別売上の内訳）

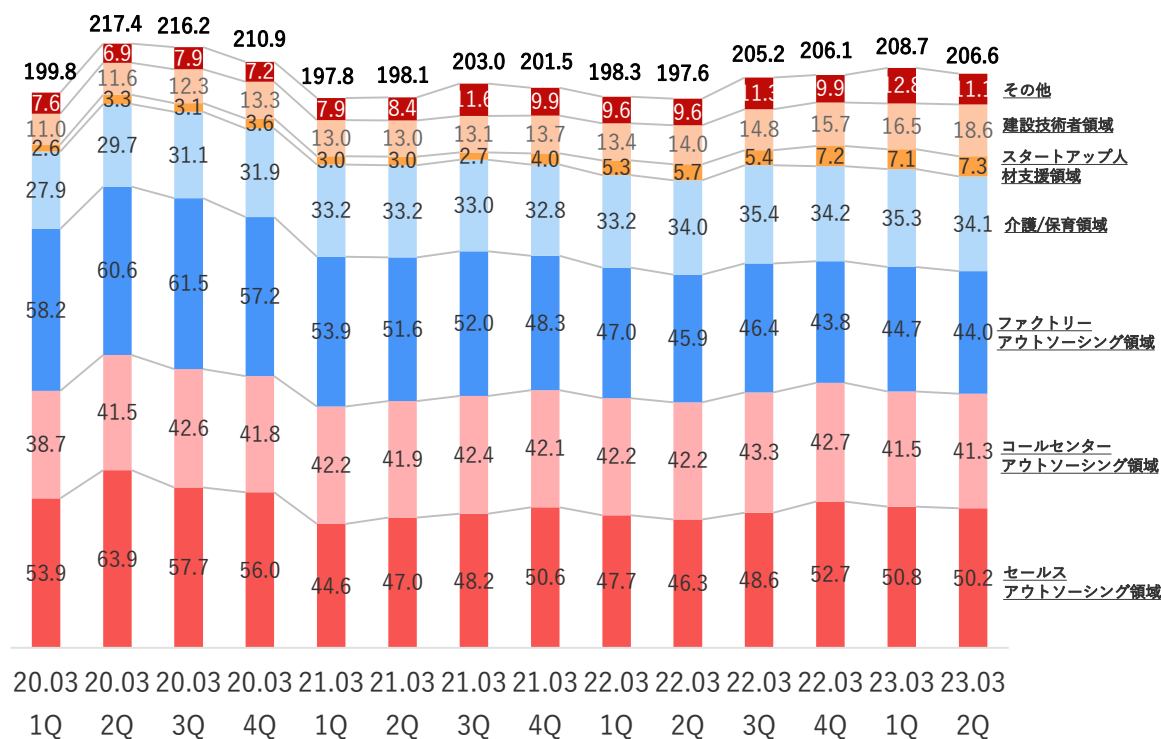
スタートアップ人材支援、建設技術者領域が堅調に推移。



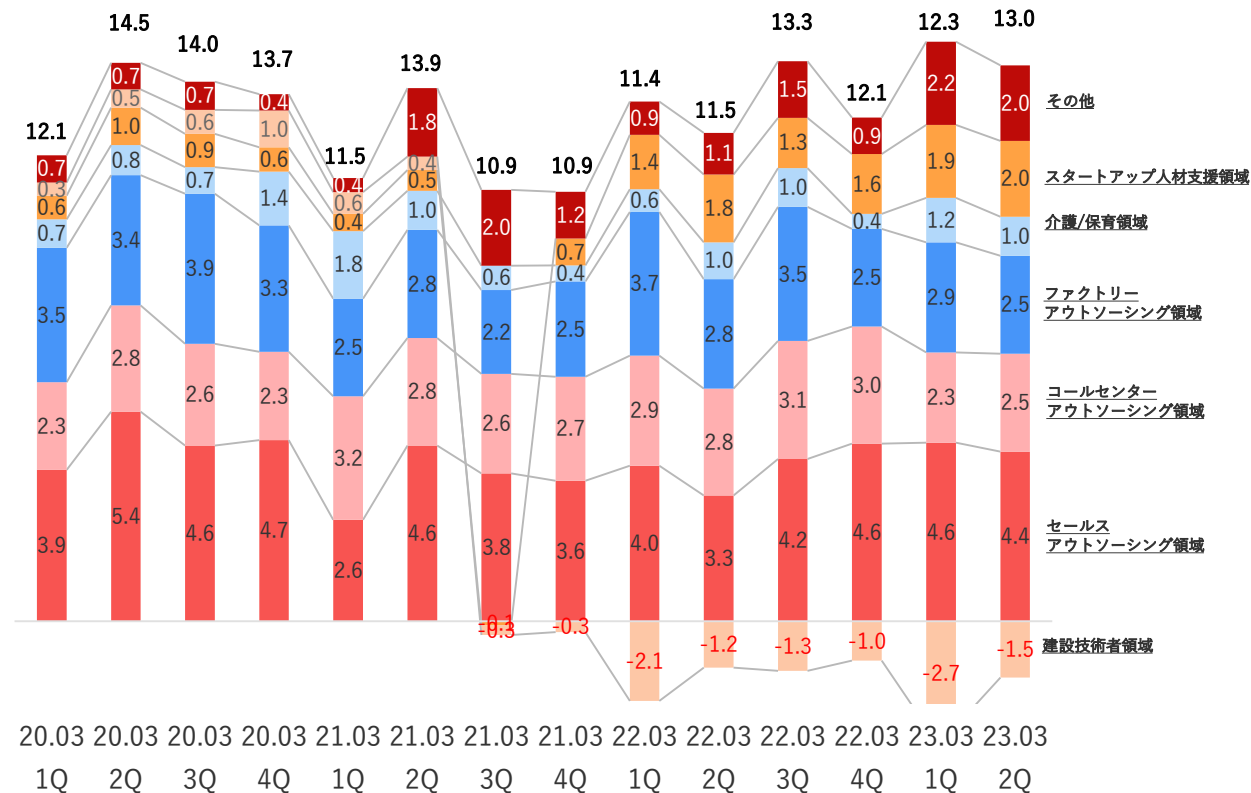
国内WORK事業（領域別売上高、営業利益）

建設技術者領域は、当年度は先行投資（人員増強、採用費投下）期間。

-領域別売上高（億円）-



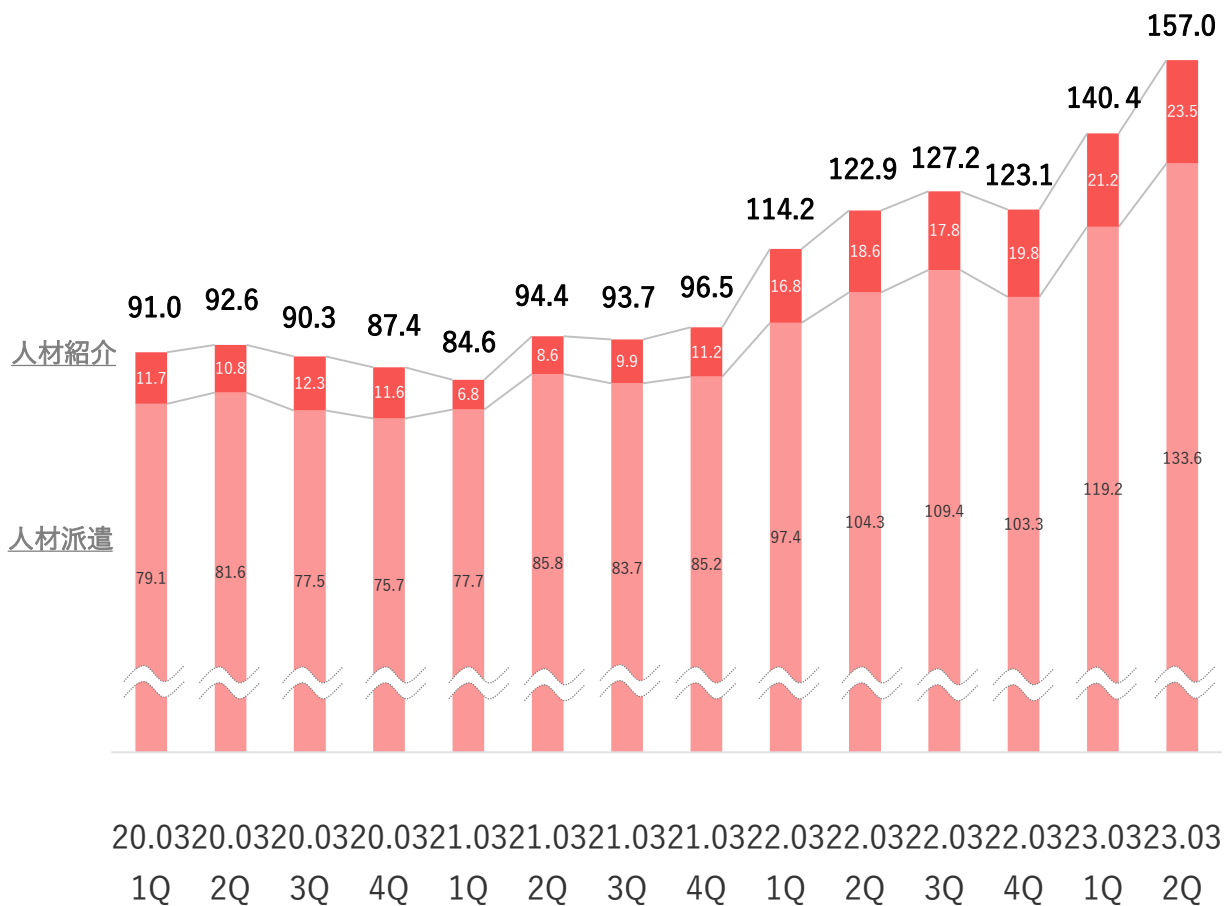
-領域別営業利益（億円）-



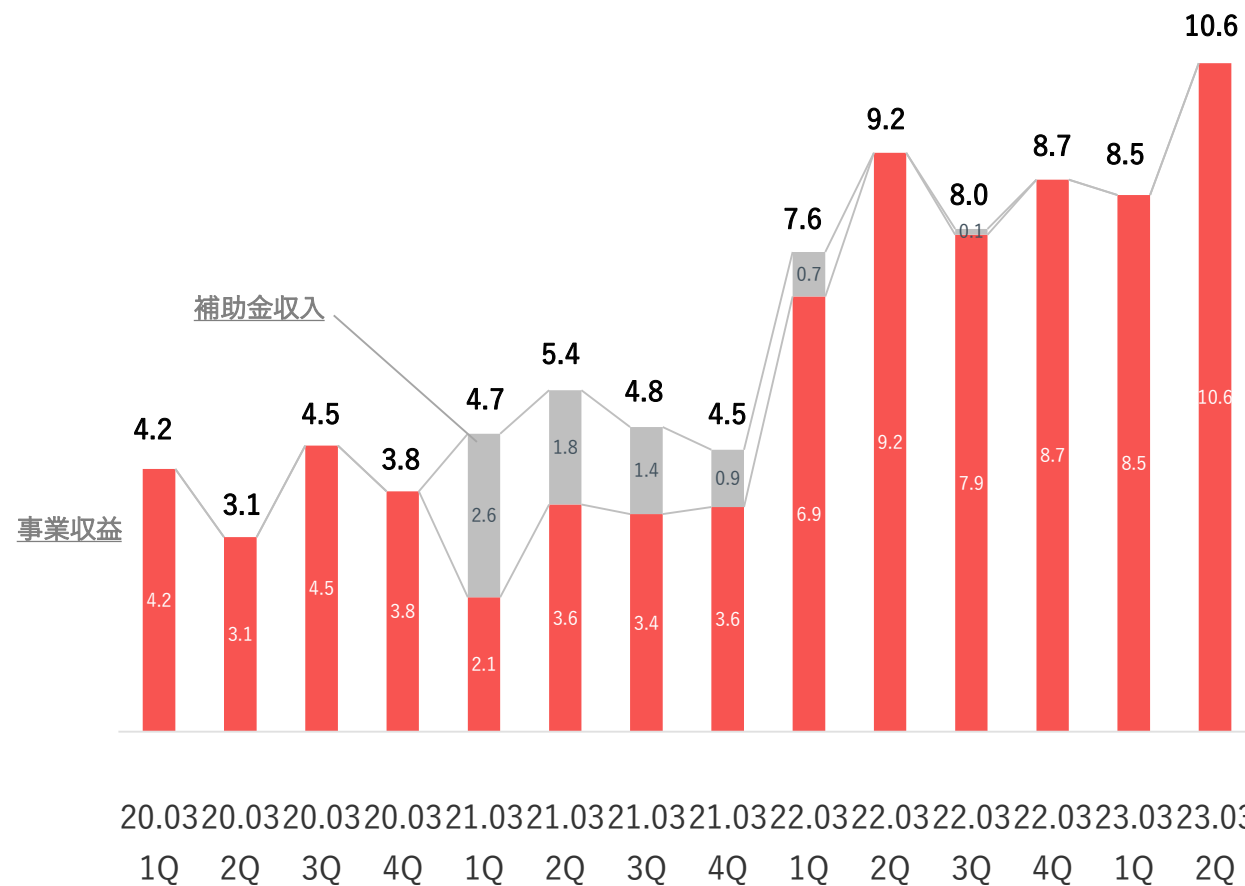
海外WORK事業（契約形態別売上高、営業利益推移）

今期は前期の反動減を見込んでいたものの、為替影響も含め人材派遣、人材紹介とも順調に成長。
2Qは、四半期で過去最高の売上、利益となる。

-契約形態別売上高（億円）-



-営業利益（億円）-



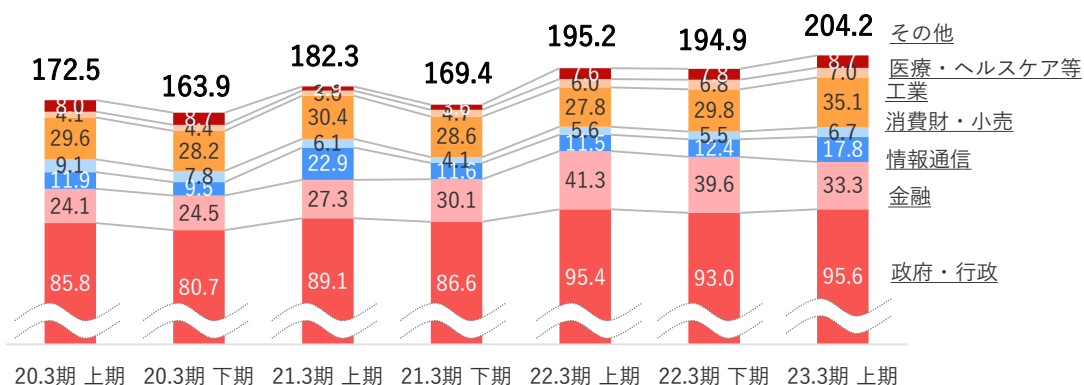
海外WORK事業（分野別売上の内訳（半期））

オーストラリア、シンガポールとも人材派遣は、政府・行政を中心に安定して推移。
人材紹介も、両国とも求人件数が、過去最高水準で推移しているため、堅調に推移。

(億円)

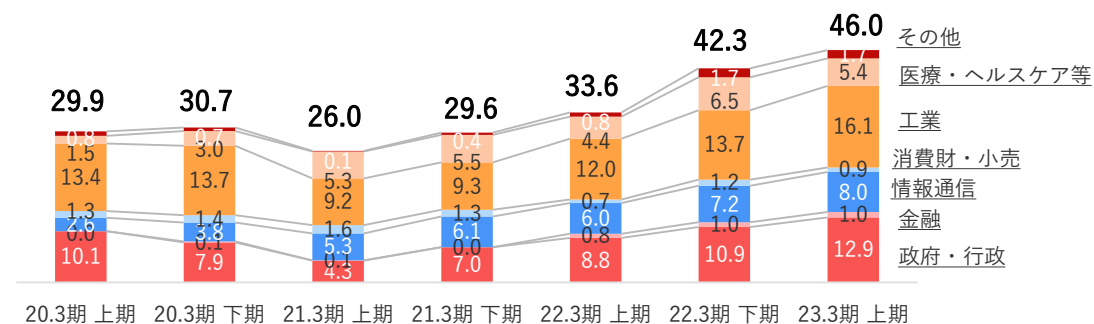
■オーストラリア

・人材派遣

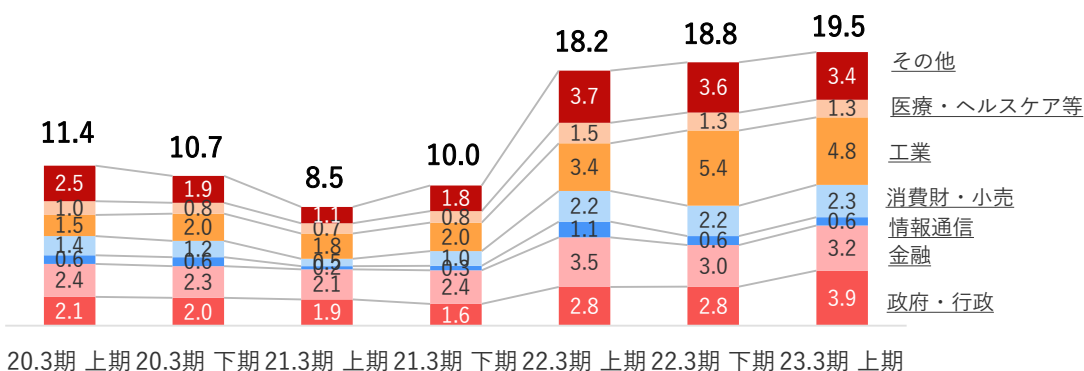


■シンガポール

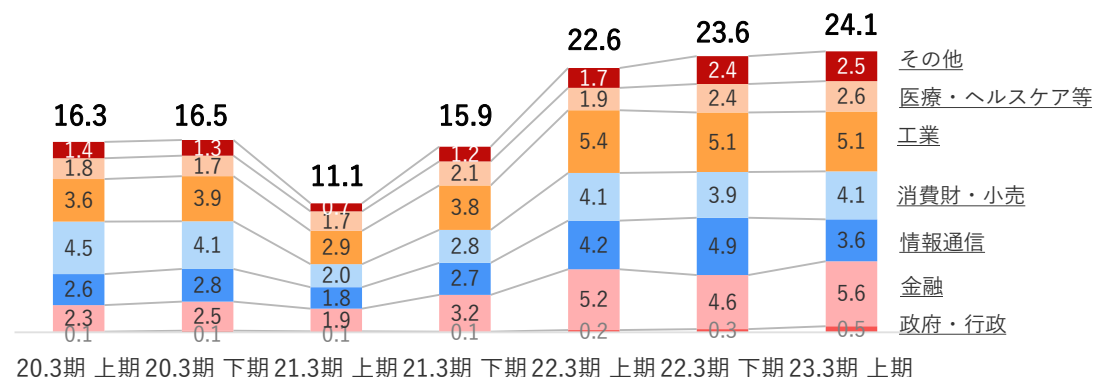
・人材派遣



・人材紹介

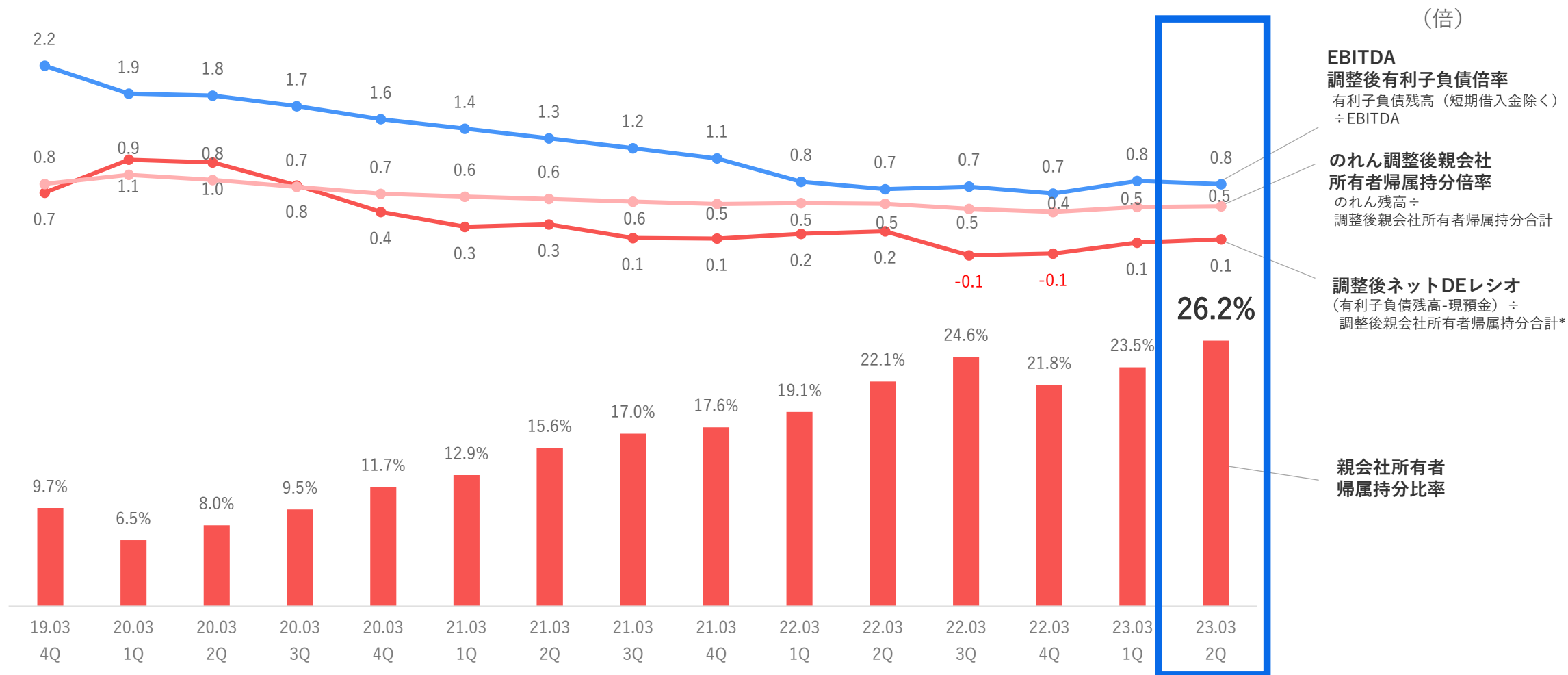


・人材紹介



1シンガポールドル=96円、1オーストラリアドル=93円で換算しています。

親会社所有者帰属持分比率は、2Qで26.2%。中期経営計画目標：20%を上回って進捗。



II.2023年3月期 通期業績予想、配当予想

2023年3月期通期業績見通し

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計業績が業績予想に対し上振れしているものの、第3四半期以降が以下の見通しであることから、既に公表している業績予想に変更はありません。

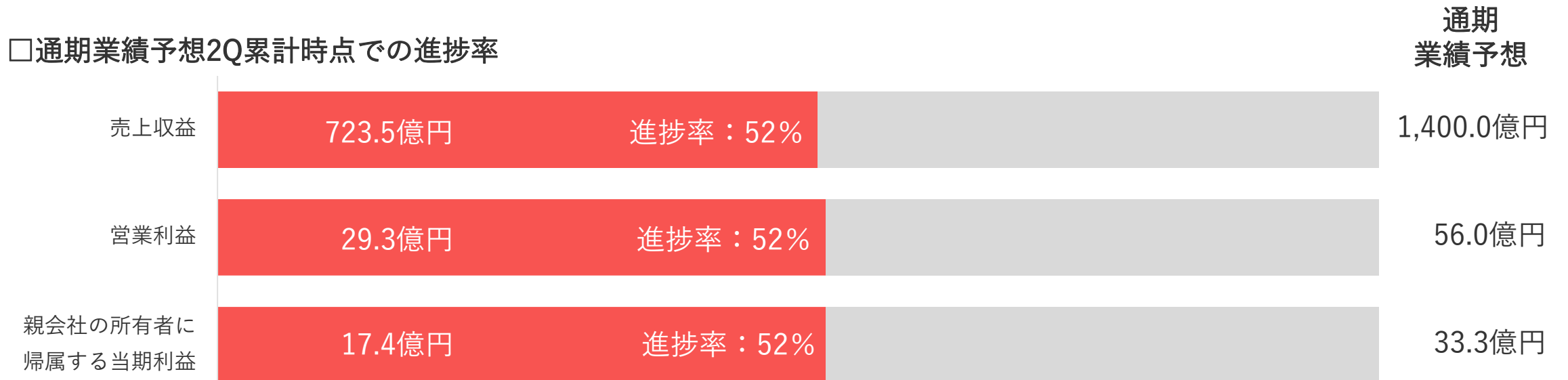
■売上収益

- ・国内WORK事業は、業績予想のシナリオでは第3四半期以降拡大を見込んでいましたが、7月から9月の感染症再拡大によって、新規案件獲得が遅れ、稼働スタッフ数を積み上げできなかったことにより、業績予想を下回る見通しです。
- ・海外WORK事業については、第3四半期以降も人材需要は堅調に推移する見通しであることに加え、プラスの為替影響により業績予想を上回る見通しです。

■営業利益

- ・国内WORK事業は、売上収益の減少に加え、戦略投資領域における先行投資予算を第3四半期以降に繰越（約2億円）していることから、業績予想を下回る見通しです。
- ・海外WORK事業は、為替影響を含め業績予想を上回る見通しです。

□通期業績予想2Q累計時点での進捗率



2023年3月期 通期連結業績予想、見通し

(億円)	2022.3月期	2023.3月期 (業績予想)	2023.3月期 (見通し)	業績予想比	
				増減	増減率
売上収益	1,310.8	1,400.0	1,400.0	+0.0	+0.0%
うち国内WORK事業	807.2	889.8	848.5	△41.3	△4.6%
うち海外WORK事業	487.4	490.3	527.8	+37.5	7.7%
うちその他	16.0	19.8	23.5	+3.7	+19.1%
売上総利益率	21.9%	22.6%	22.7%	+0.1pt	-
営業利益	54.7	56.0	56.0	0.0	0.0%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	4.0%	0.0pt	-
うち国内WORK事業	44.4	56.9	44.4	△12.5	△22.0%
うち海外WORK事業	33.4	25.8	36.3	+10.4	+40.4%
うちその他	△3.4	△1.9	△1.9	△0.0	-
うち調整額	△19.8	△24.8	△22.7	+2.1	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.8	33.3	33.3	0.0	0.0%
EBITDA	75.5	76.7	76.7	0.0	0.0%
為替レート	前期実績	2023.3月期 (業績予想)	2023.3月期 (見通し)	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	83円	78円	93円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	83円	79円	96円	1.1億円	0.1億円

2023年3月期業績見通し（セグメント別、領域別）

(億円)

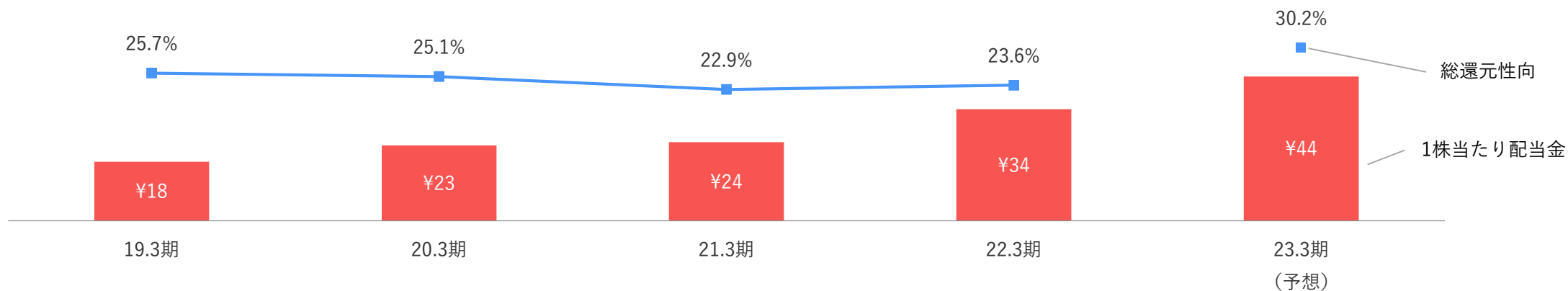
セグメント	領域		2023.3月期 2Q実績	2023.3月期 業績予想	2023.3月期 見通し	業績予想比	業績予想と見通しの差異について
国内WORK 事業	セールス アウトソーシング 領域	売上	100.9	206.6	203.2	△1.6%	既存大型案件の契約終了等による影響はあったものの、概ね計画通りに進捗。
		営業利益	9.0	18.7	17.8	△4.9%	
	コールセンター アウトソーシング 領域	売上	82.8	184.2	166.8	△9.5%	感染症再拡大影響に加え、既存顧客の採用計画見直しにより稼働スタッフ数減少。オーダー獲得強化に取り組む。
		営業利益	4.8	13.0	8.6	△34.0%	
	ファクトリー アウトソーシング 領域	売上	88.7	191.1	182.6	△4.5%	顧客の生産調整の継続、外国人労働者の入国者数が想定を下回ったことで、人材紹介及び外国人雇用管理委託サービス減少。コスト見直しに取り組む。
		営業利益	5.4	14.5	11.0	△24.4%	
	介護ビジネス支援 領域	売上	69.3	147.6	135.9	△7.9%	感染症再拡大影響に加え、紹介予定派遣の方針変更で人材紹介売上が減少。コスト見直しに取り組む。
		営業利益	2.1	7.1	4.0	△43.7%	
	スタートアップ 人材支援領域	売上	14.3	28.0	28.0	0.0%	好調に推移。引き続き、コンサルタント含む採用強化。
		営業利益	3.8	5.7	5.7	0.0%	
建設技術者領域	売上	35.1	83.0	76.8	△7.4%	未経験の採用人数が、計画に対し遅れ。採用チャネルの拡大に取り組む。	
	営業利益	△4.2	△4.3	△5.8	-		
海外WORK 事業	売上	297.4	490.3	527.8	+7.7%	為替影響に加え、3Q以降も人材紹介需要は、引き続き堅調に推移する見通し。	
	営業利益	19.1	25.8	36.3	+40.4%		

2023年3月期 配当予想

期首配当予想を据置き。
2023年3月期配当予想は、期首業績予想に対する総還元性向:30%。

	2022.3月期	2023.3月期 配当予想
期末配当	34円/株	44円/株
総還元性向	23.6%	30.2%

■1株当たり配当金、総還元性向の推移





III.中期経営計画（WILL-being 2023） 重点戦略の進捗

中期経営計画（WILL-being 2023）進捗サマリ

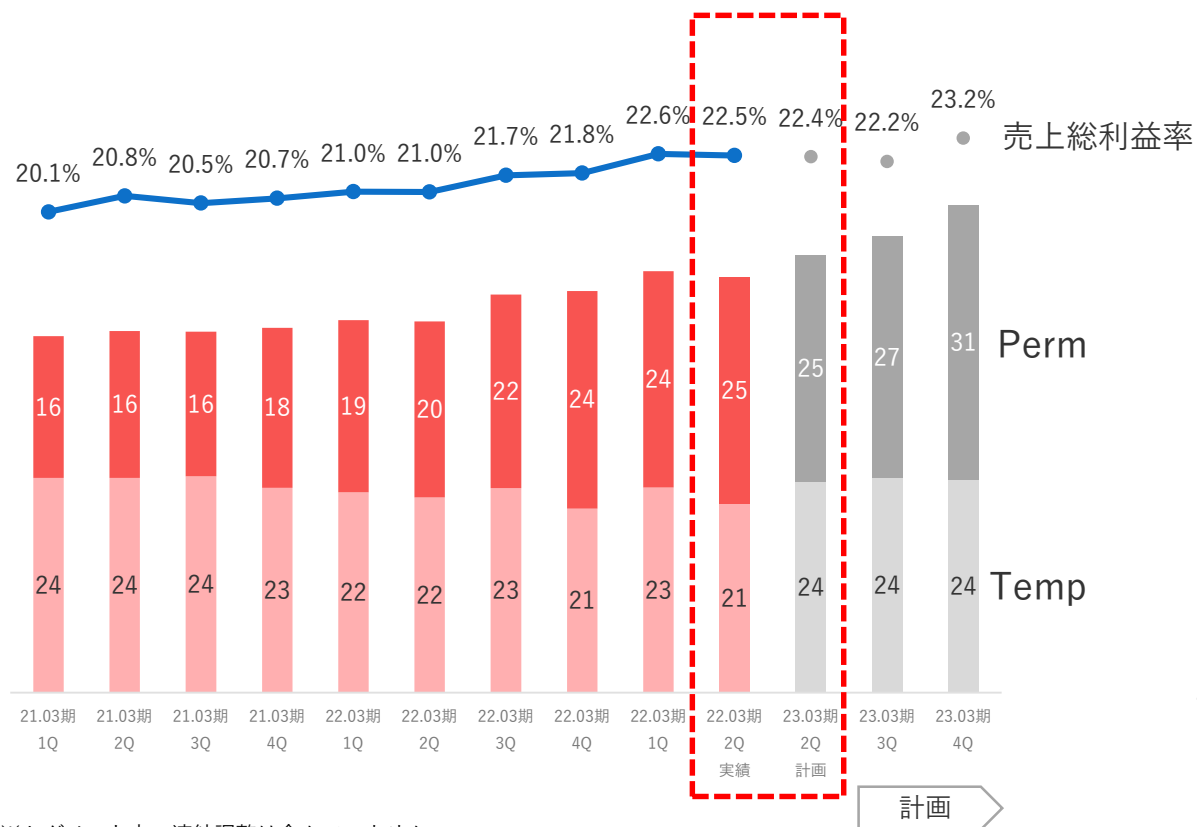
進捗が遅れている部分については、早急に取り戻し、重点戦略の全項目達成を目指す。

重点戦略		内容	2023年3月期 2Q進捗	
戦略Ⅰ	ポートフォリオシフトによる収益性の改善 (国内WORK事業・海外WORK事業) 利益最大化領域、戦略投資領域	<ul style="list-style-type: none"> Perm（人材紹介、専門性の高い領域への人材派遣）領域を拡大。特に、介護、建設技術者、スタートアップ人材支援領域にフォーカス。 (指標) <ul style="list-style-type: none"> 戦略投資領域 = 売上成長率 利益最大化領域 = 営業利益率 	△	(戦略投資領域) <ul style="list-style-type: none"> 建設：○（新卒・未経験中途の採用数増加） 介護：△（感染症再拡大の影響で、受注数が伸び悩む。紹介予定派遣は1Qで戦略変更。） スタートアップ人材支援：○（好調に推移）
			△	(利益最大化領域) <ul style="list-style-type: none"> 国内W：△（感染症再拡大の影響で売上が伸び悩んだことで、営業利益率改善ペースが鈍化。3Q以降コスト見直し。） 海外W：○（為替影響を除いても、ベースは着実にUP）
戦略Ⅱ	デジタルシフトによる生産性の改善 (国内WORK事業・海外WORK事業) 利益最大化領域	<ul style="list-style-type: none"> デジタルシフトにより、1人当たり生産性を高める。 	△	<ul style="list-style-type: none"> WILLOFスマホアプリの機能の強化（申請のオンライン化等）を継続実施。2022年4月「有人チャットサポート」を開始。 建設技術者領域の基幹システム（派遣管理）を既存システムに統合。
戦略Ⅲ	次なる戦略投資領域の探索 探索領域	<ul style="list-style-type: none"> 在日外国人向けサービスの拡大。 IT人材サービスの拡大。 HRTechは、主軸事業周辺領域での展開を探索。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 2022年5月に技能実習生、特定技能外国人が来日したが、在日外国人向けサービスは、当初の想定を下回る。 IT人材サービスは、派遣・紹介とも着実に増加。 建設技術者領域でのサービス等、プロダクト開発中。
戦略Ⅳ	財務戦略 グループ全体	<ul style="list-style-type: none"> 親会社所有者帰属持分比率：20%以上 ROIC：20%以上（資本コストは10%程度） 総還元性向：30%以上 	○	<ul style="list-style-type: none"> 親会社所有者帰属持分比率は、2023年3月期2Q時点で26.2%。 ROICは、営業利益の上積みにより達成を目指す。 23.3期の総還元性向見通し：30.2%

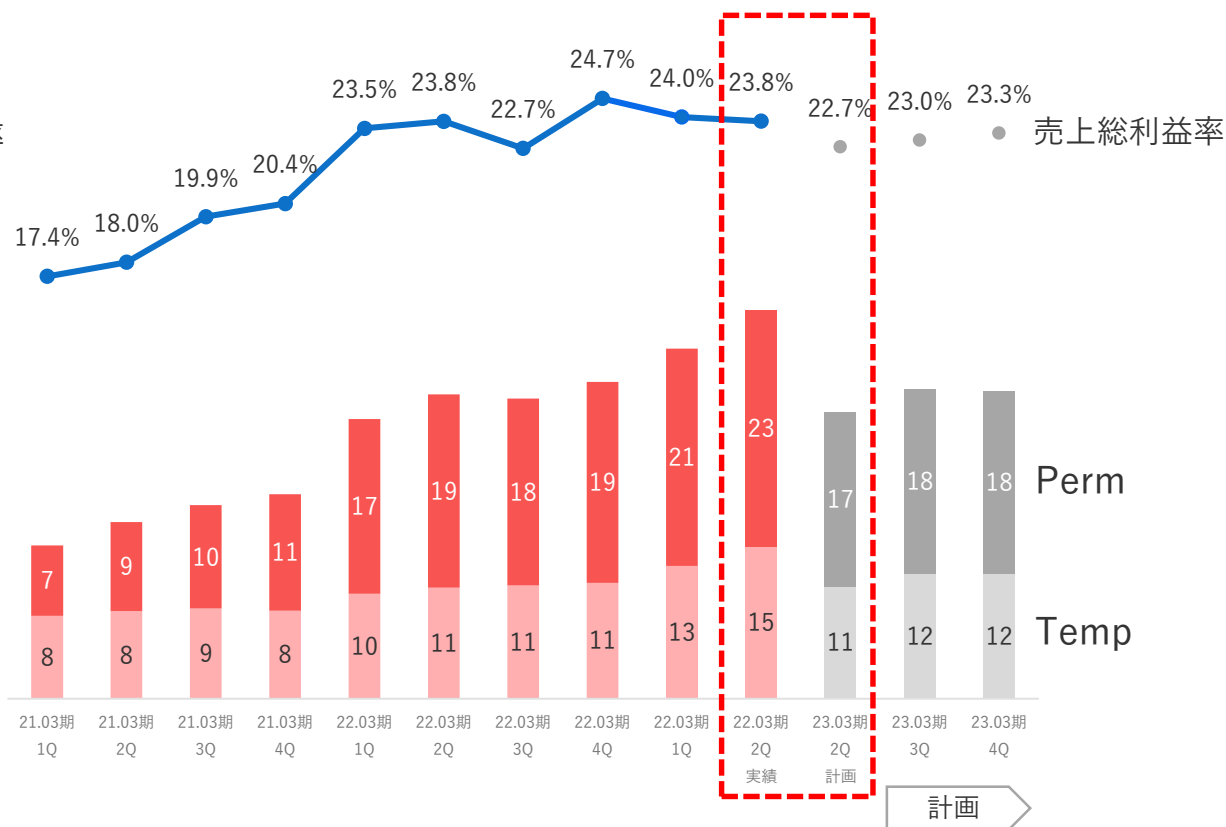
(国内・海外) ポートフォリオシフト進捗

国内WORK事業は、計画通り進捗。海外WORK事業は、Temp（人材派遣）の増加により、売上総利益率は低下するものの、売上総利益額は計画を大きく上回って推移。

-国内WORK事業 Temp/Perm別売上総利益※（億円）-



-海外WORK事業 Temp/Perm別売上総利益（億円）-



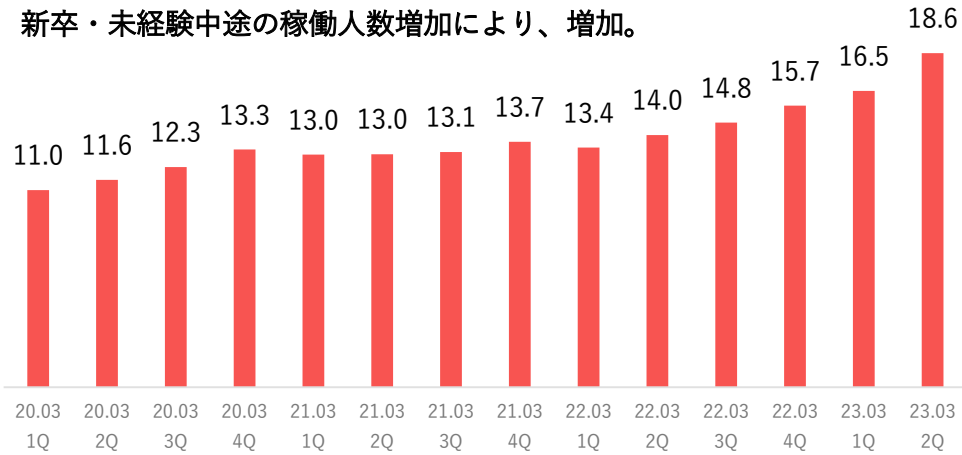
※セグメント内の連結調整は含んでいません。
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

建設技術者領域の進捗

■四半期別売上高の推移

単位：億円

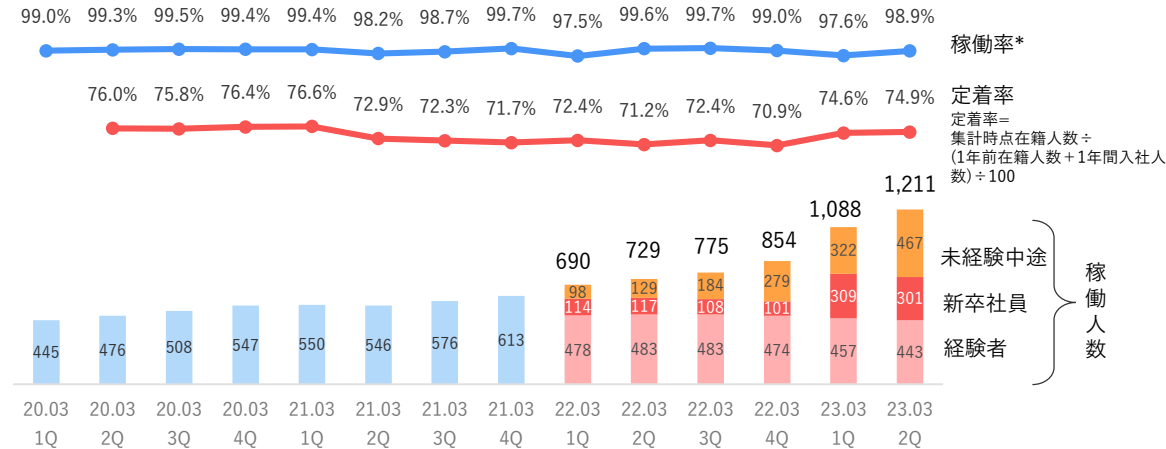
新卒・未経験中途の稼働人数増加により、増加。



■稼働人数、稼働率、定着率

単位：人

稼働率は高水準で推移。引き続き定着率の向上に取り組む。



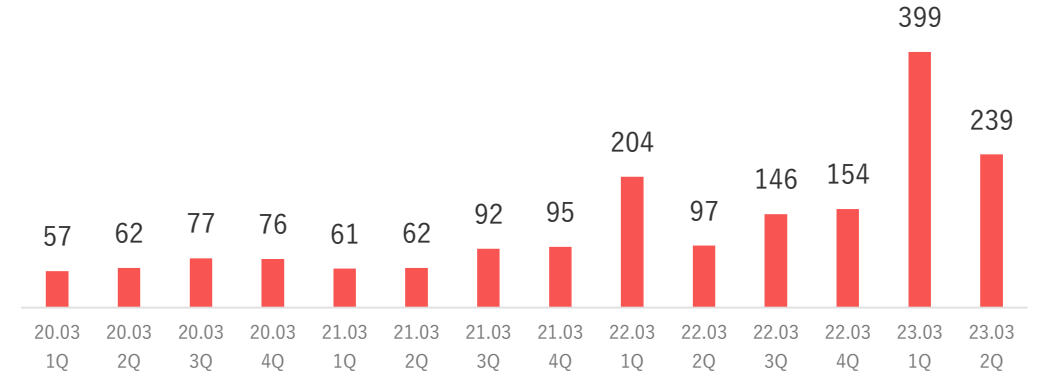
*22.03 1Q、23.03 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です。
累計期間の稼働率は、22.03 1Q：90.4%、23.03 1Q：89.6%になります。

■採用人数

単位：人

中途未経験者採用は、着実に増加。

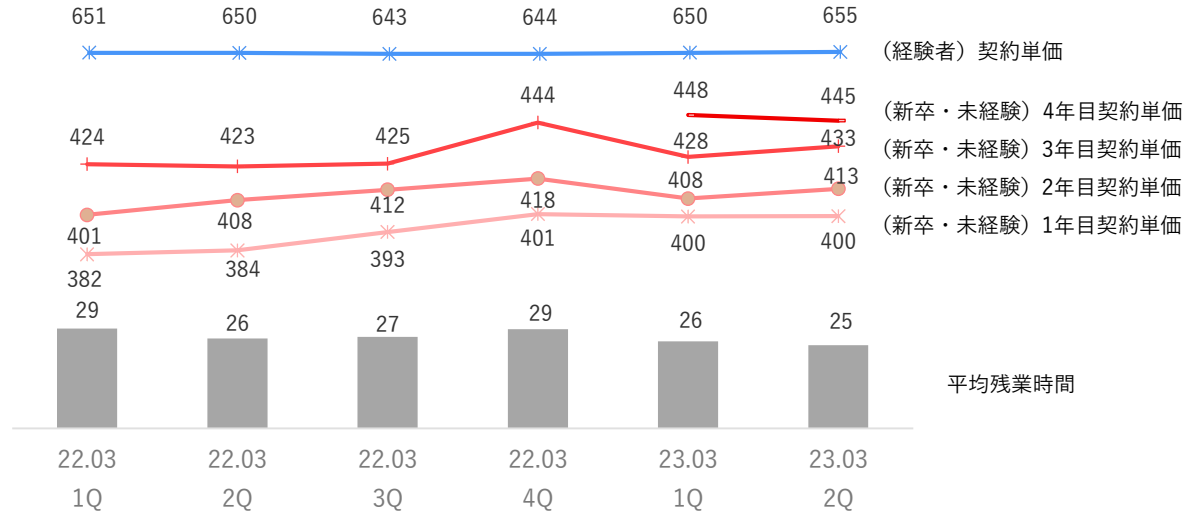
*1Qは、新卒採用（前期：131名、今期：236名）を含む。



■平均契約単価、平均残業時間（月間）

単位：時間、千円

新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により3%-5%/年上昇。
残業時間は減少傾向。

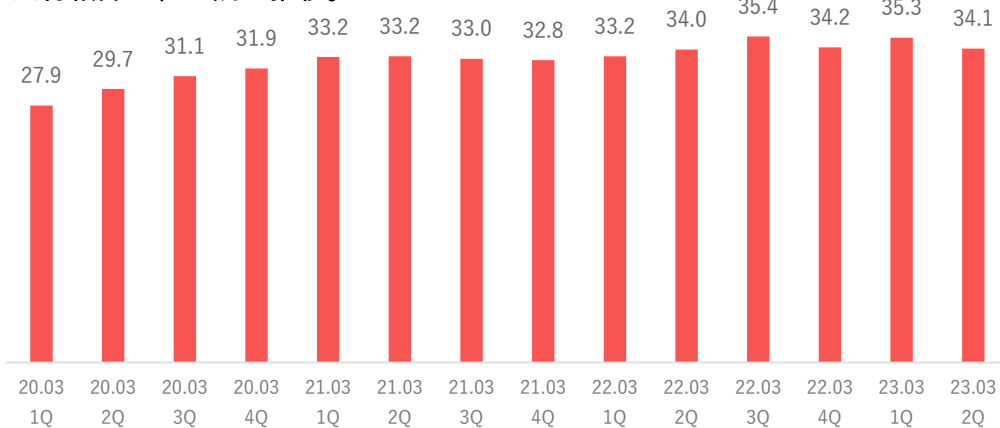


介護領域の進捗

■ 四半期別売上高の推移

単位：億円

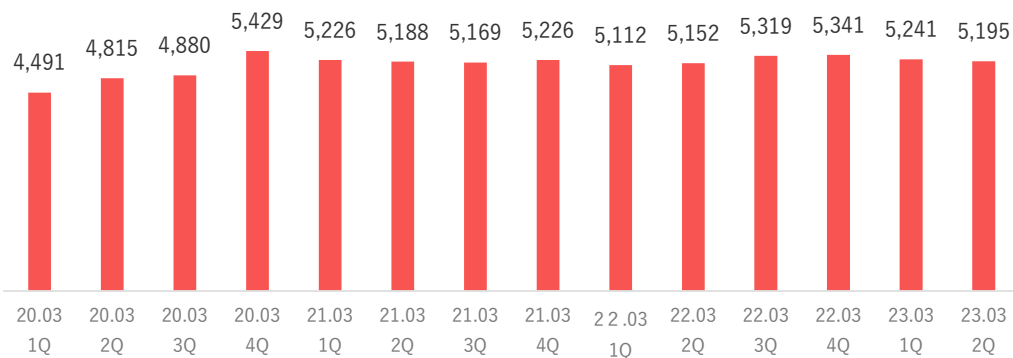
人材派遣は、稼働人数減少が影響。
人材紹介は、堅調に推移。



■ 派遣稼働人員数

単位：人

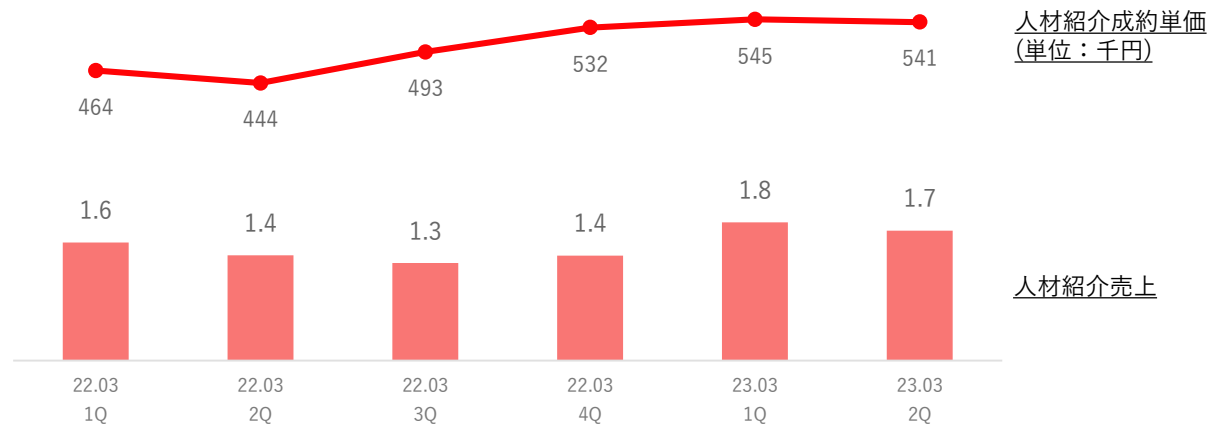
7月-9月の感染症再拡大による新規案件減少の影響があり、前四半期比で減少。



■ 人材紹介売上と人材紹介成約単価

単位：億円

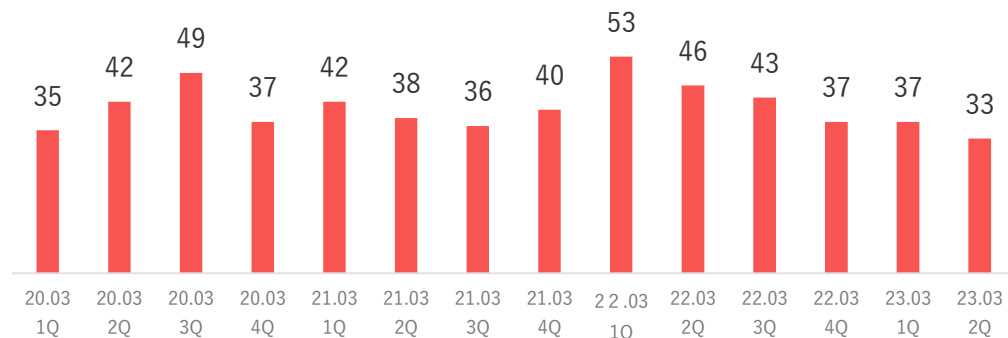
人材紹介成約単価は、経験者にターゲットを絞ったことから、上昇傾向。



■ 人材紹介部門社員数

単位：人

今期については、現状の人員体制を維持する予定。



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶



Appendix

中期経営計画経営目標と2023年3月期業績予想の比較

2023年3月期は、中期経営計画の通り先行投資は、13億円実施予定。財務目標については、現時点でROICを除いて、中期経営計画目標を達成見通し。ROICは、投下資本の見直し等により達成を目指す。

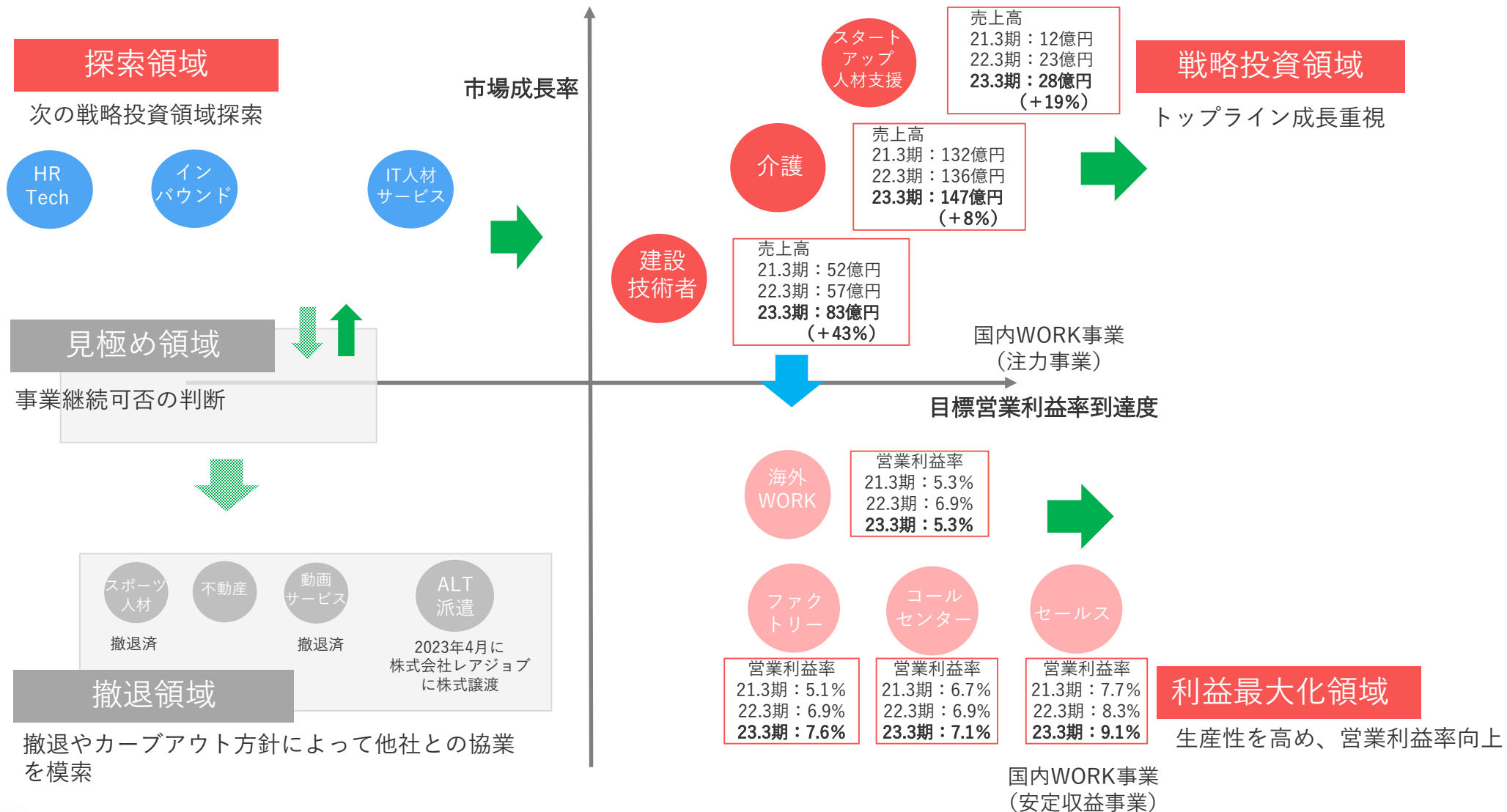
KPI	2020.3月期	2021.3月期	2022.3月期		2023.3月期	
			(中期経営計画)	(実績)	(中期経営計画)	(業績予想)
売上収益 (前期比)	1,219億円 (+18%)	1,182億円 (△3%)	1,210億円 (+2%)	1,310億円 (+11%)	1,335億円 (+10%)	1,400億円 (+7%)
売上総利益率	20.8%	20.3%	21.2%	21.9%	22.6%	22.6%
販管費 (うち先行投資費用)	214億円	204億円	222億円 (13億円)	235億円 (10億円)	248億円 (13億円)	259億円 (13億円)
営業利益 (営業利益率)	41.4億円 (3.4%)	40.3億円 (3.4%)	34.0億円 (2.8%)	54.7億円 (4.2%)	53.5億円 (4.0%)	56.0億円 (4.0%)
ROIC	14%	14%	12%	17.9%	20%	18.6%
親会社所有者帰属持分比率	11.7%	17.7%	19%	21.8%	22%	24.8%
総還元性向	25.1%	22.9%	30.6%	23.6%	30.0%	30.2%

収益性指標

財務指標

中期経営計画における事業ポートフォリオ

進捗遅れが一部あるものの、概ね順調に進捗。



海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



当社のビジネス環境

豪州、シンガポールとも2022年に入り、国境が全面的に再開されたこと等により、景気は新型コロナウイルスの感染拡大前の水準程度に持ち直しています。

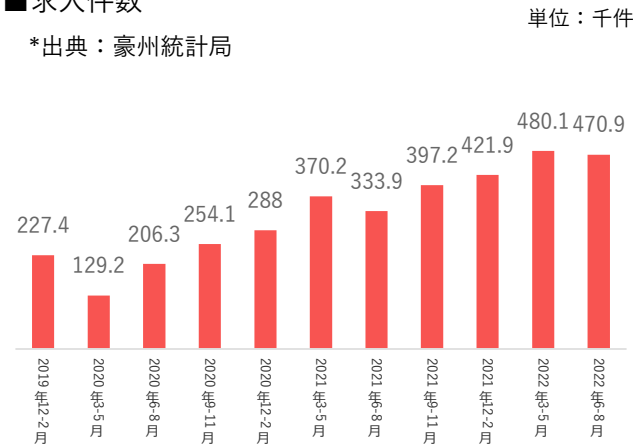
人材需要においても、豪州、シンガポールともに求人件数は過去最高水準で、人材紹介事業を中心として堅調に推移しており、3Q以降も継続する見通しです。

ただし、世界的な景気後退懸念、ロシア・ウクライナ情勢等含めた先行きには、注視が必要です。

関連経済指標

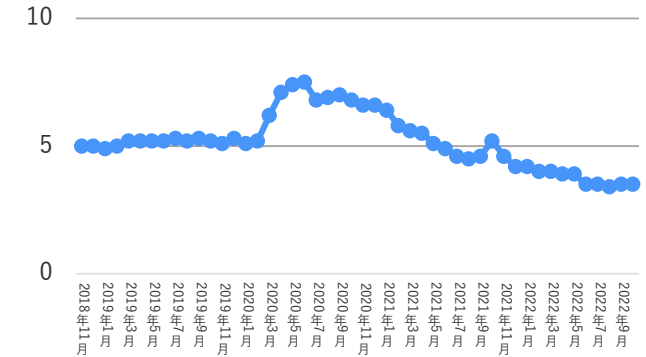
■ 求人件数

*出典：豪州統計局



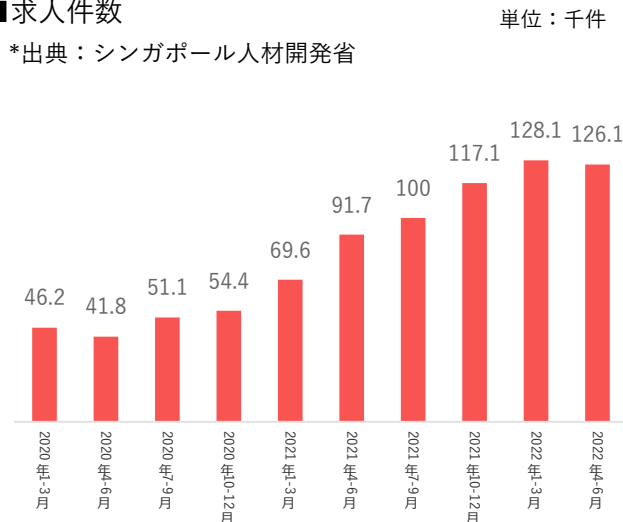
■ 完全失業率

*出典：豪州統計局



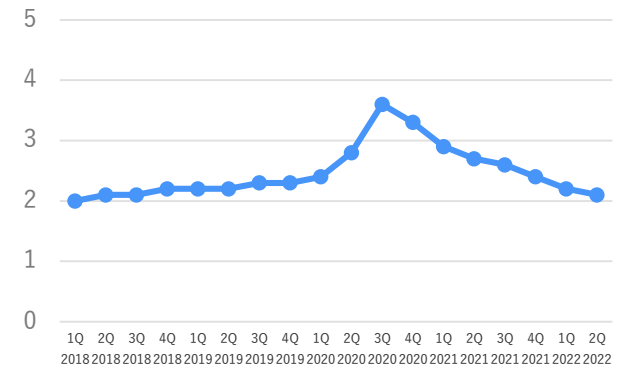
■ 求人件数

*出典：シンガポール人材開発省



■ 完全失業率

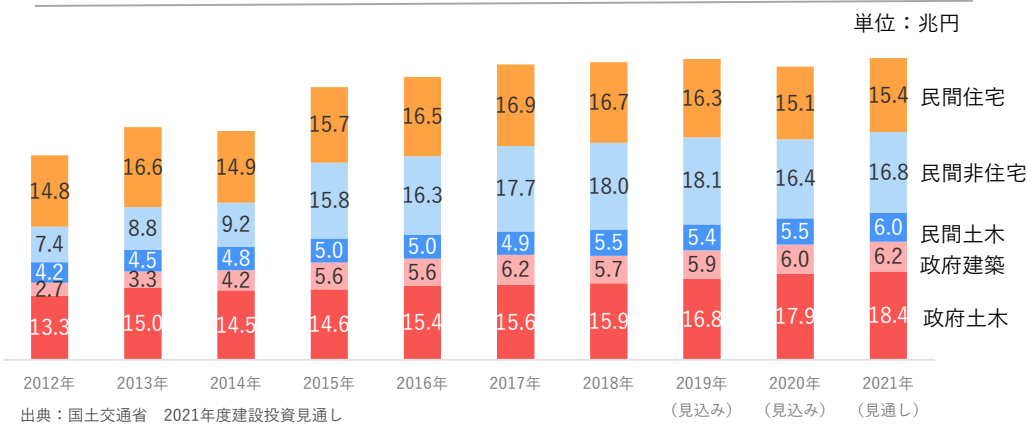
*出典：シンガポール統計局



建設領域の外部環境

国内の需要は堅調。2024年4月から「働き方改革関連法」が建設業界にも適用予定。残業時間規制によって、人材需要の高まりが期待される。また、人材の高齢化も深刻。

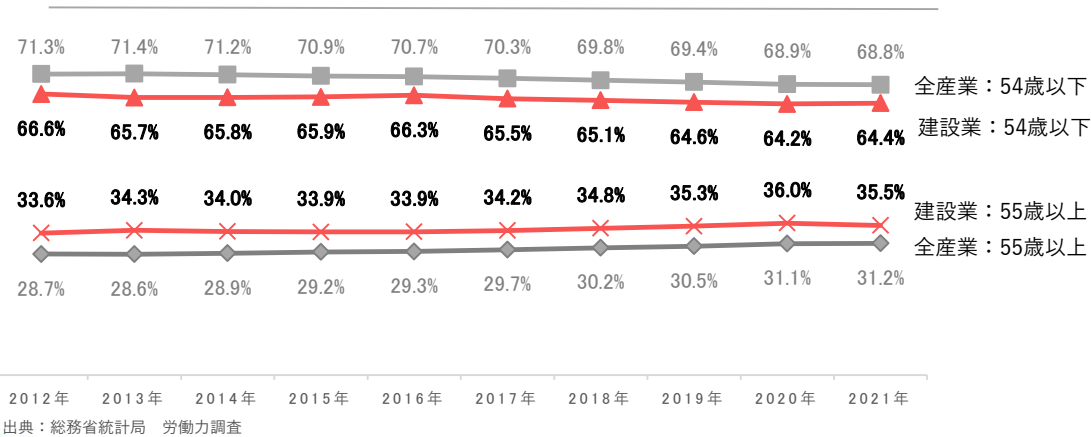
名目建設投資額



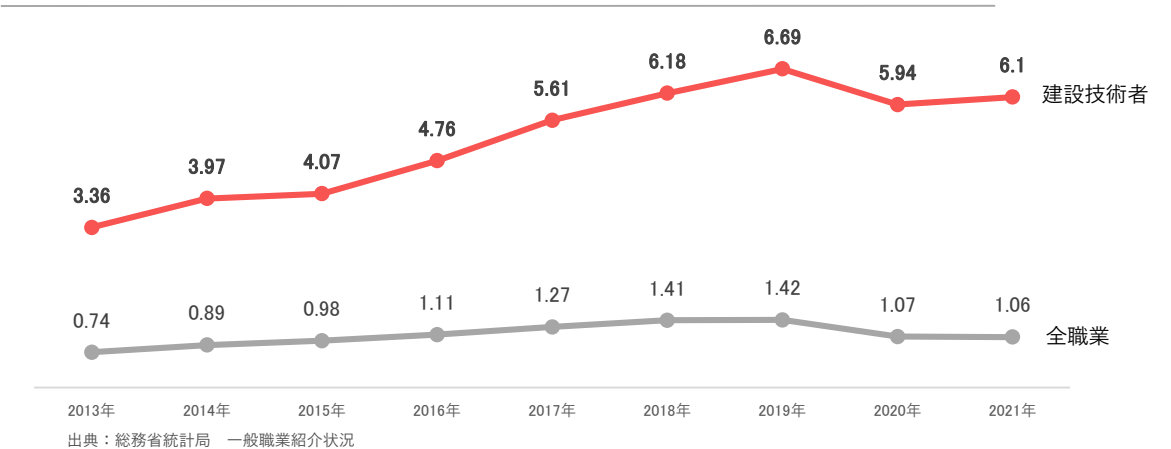
建設業 就業者数の推移



建設業 年齢別就業者数の推移



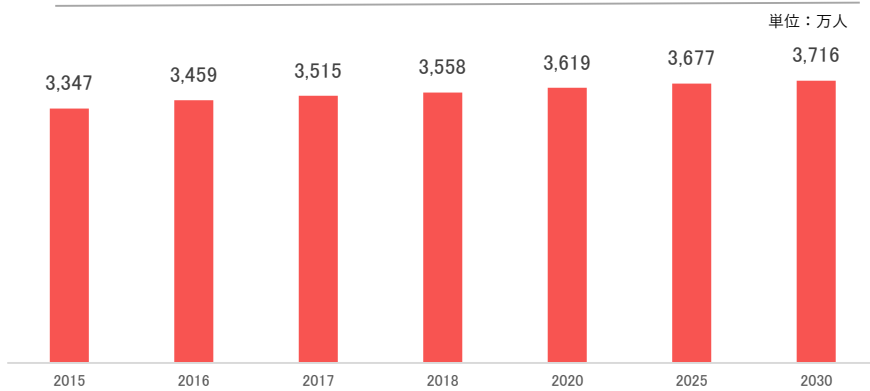
建設業 有効求人倍率の推移



介護領域の外部環境

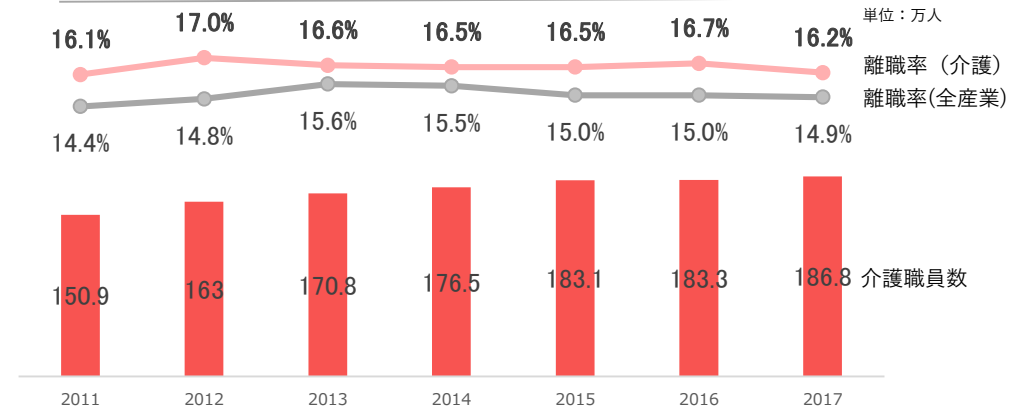
介護人材は慢性的な人手不足で需要は引き続き増加傾向。外国人人材などの登用含め市場は引き続き拡大傾向。

高齢者人口



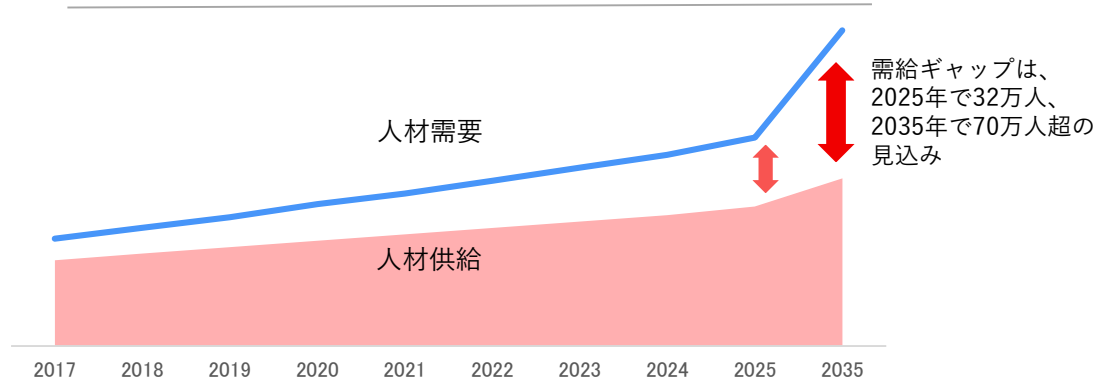
出典：厚生労働省 2019年7月介護人材の確保・介護現場の革新（参考資料）
総務省統計局 人口推計

介護職と離職率の推移



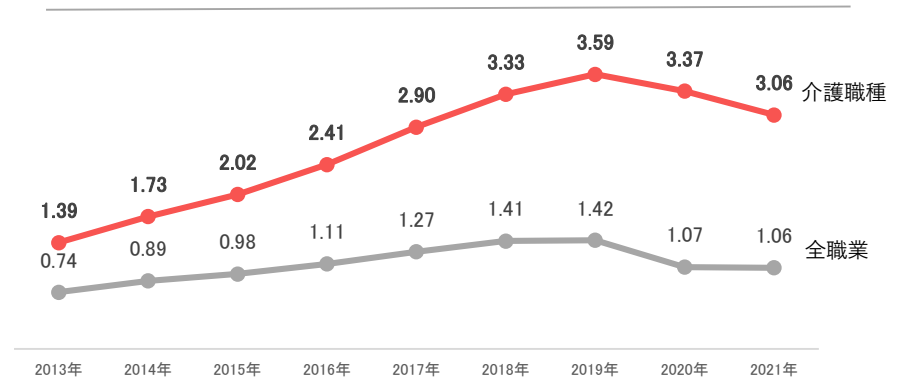
出典：厚生労働省 2019年7月介護人材の確保・介護現場の革新（参考資料）

介護職の需給予測



出展：経済産業省 2018年4月将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究会報告書

介護職の有効求人倍率の推移



出典：総務省統計局 一般職業紹介状況